

**平成19年度
札幌管区気象研究会・日本気象学会北海道支部研究発表会プログラム**

日 時:平成19年12月18日(火)13時00分～17時00分

19日(水)09時00分～12時05分

場 所:札幌管区気象台 大会議室(1F)(札幌市中央区北2条西18丁目)

12月18日午後の部(13:00～17:00)

- 1 温位エマグラムによる事例解析
○相澤弘太(帯広測候所)
- 2 衛星データを用いた海洋・海上気象プロダクトの開発と利用
○金森祥一・三浦恒人・伊藤公博(函館海洋気象台)
- 3 利尻島東側の大雨について
齊藤千秋・○小松将博・窪田芳徳(稚内地方気象台)
- 4 2006年8月17日～19日にかけての前線による胆振・日高地方の大雨
今井達也・○笹部忠司(室蘭地方気象台)
- 5 2007年1月29日新千歳空港の大雪事例解析
○黒田英二・鷹野弘文・菊池晋・出村孝弘(新千歳航空測候所)海藤幸広・畠山謙吾(札幌管区気象台)
- 6 北海道における降雪の年々変動
○内藤智志・山崎孝治(北大環境)
- 7 常呂川の水位特性について
○湯浅大樹・森谷貞幸・田辺一博(網走地方気象台)
- 8 航空ガイダンス(風)検証
○山中佳彦・佐藤栄二・山本貴幸・窪田世界(女満別空港出張所)
- 9 帯広空港付近における乱気流の発生について(第3報)
○廣瀬直之(帯広空港出張所)
- 10 北海道内気象官署の最大瞬間風速
○永井康之(浦河測候所)
- 11 檜山奥尻島の強風注意報の見直しについての基礎調査
○米川博志・長谷川貴彦(函館海洋気象台)
- 12 夏期の平野における地上風の日変化～ホドグラフ回転とその力学～
○坂崎貴俊(北大理) 藤原正智(北大環境)

12月19日午前の部(09:00~12:05)

- 13 突風関連指数の特性について
○木下延幹(旭川地方気象台技術課)
- 14 北海道における突風関連指数の検証
○服部正隆(釧路地方気象台技術課)
- 15 雹を含むエコーの判別方法(第2報)
○中川憲一・岸隆幸(札幌管区気象台予報課)
- 16 空港で発生する突風現象について(第1報)～スコール検出アルゴリズムの開発～
○村上喜章・水上威仁・入江美貴・高田泰彦・長谷川尚也・
本館豊・安部公也・鈴木淳浩(新千歳航空測候所予報課)
- 17 留萌の海陸風変化に伴う最高気温の出現傾向
小柳吉晴・平原一憲・○山本久士(留萌測候所)
- 18 北海道地方季節予報要素についての通年半旬別主成分分析と大気場との関係
○萱場互起(札幌管区気象台)
- 19 オホーツク海沿岸に出現した波状エコーの構造と起源
○浜元陽平(北大環境)藤吉康志(北大低温研)
- 20 成層圏QBOの対流圏影響
○高橋舞子・山崎孝治(北大環境)
- 21 2006年12月29日北海道南西沖で発生した前線を伴ったポーラーロウ
○嶋田宇大・山崎孝治(北大環境)

※ ○印は発表者